京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

寄書

韓國經營と人口問題（六）

於仁川 山下南海

顧て我國民の生殖力を見るに獨英のそれに優るも劣る所あらず、爾かく強大なる速度を以て膨脹しつゝある我帝國民が、將來如何なる活動を敢てすべきかに就ては列國民の仔細に研究しつゝある所にして、韓國は實に日本國民膨脹の門戸として亦た大陸政策實行の起點地なりとして目せらるゝに到れり、然り韓國は帝國民排泄の大木戸なり、よし之を自然の成行きに放任したればとて祖國同胞多數の移住を實現するは想像するに難からずとなすも、然れども將來の殖民をして豫想の道程をたどらしめんには移民政策に於て不動の方針なからざるべからず、殖民統治の根本要義が健全なる居留同胞を基礎とするに在る以上、光輝ある移民政策の實行は則ち之に依りて遂成せらるゝものなる事を銘心せざるべからざるなり。謂ふ迄もなく祖國人口の增加は累年經濟上分配を不公平ならしめ日に月に貧富の懸隔を大ならしめんとするの傾向頗る大なり、殖民に依りて人口の過剩を節制せしめん事は急務中の急務たるに非ざるなき乎、然るを何ぞやマルサス一派の人口論に渴仰し或はマークス等の社會說に隨喜して徒方徒轍もなき言論を唱ふるが如きに到ては共に殖民を談ずるに足らず、殖民は單に同一國性を有する民族の地理的移動を以て律すべきに非ず、低度の文明に臨むに高度の文明を以てするをキャラクターとなす以上、我帝國の滿韓に於てする殖民は最も此理性に適合したるものと謂ふべく、滿韓國民如何に古き歷史を有すと雖も渠等國民の文明は印度と同じく亦た埃及と擇ぶ所なし、國家的結合心乏しく個人的勇往心を缺ぐ、渠等の所謂文明は劣等なり、劣等の文明を以てして高度の文明を有する日本國民に對抗せん事は畢竟徒勞にして斷じて不可能なり、若し滿韓國民が吾人と文明の程度を同くし而かも國民の意氣にして銷沈せずとなさば、宛かも獨逸の波蘭に對する政策の如き極端なる高壓手段の採用に出づべきや勿論なり、獨逸の對波蘭政策は球上殆んど類例なき同化主義の實行に腐心せり、獨逸は波蘭壓迫の爲に多數の農業を移殖せん事に焦慮し、過去二十年間國庫金を支出する事三億萬マークにして僅に十四萬餘人の本國民を移殖分布したるに過ぎず而して亦た最近に於ては波蘭土地收容法を制定し强制的に土地の買收をなさんことを欲し四億万マークの基金を支出する事に決せり、其他統治上に要せし經費の多額なるものあるにも拘はらず、何等著しき殖民上の效果を收め能はざるは何ぞや、之等は畢竟波蘭人の文明が獨逸人に比して優劣あるなく爾かも民人としての結合力が或點に於て獨逸人を制御する事の多ければなり、波蘭統治難を唱ふるは獨り獨逸のみに非ずして露國亦たそれ以上に苦心を拂へり、留だ其邦土の地點が露獨墺の中間に介在するが故に比較的世界の注目を喚起せざる耳、波蘭人は素より亡國の民獨逸の支配權下に立つと雖も、渠等の臥薪嘗膽は印度王國に於ける革命黨の如き比に非ず、渠等が農民として獨逸人を凌駕し文明咀嚼の能力亦た敢て獨逸人に一籌を輸するなし、獨逸が波蘭人の國民性を破壞せんが爲に想像以上の苦心を拂ひつゝあるは識者の知悉する所なるを信ず、韓國と波蘭とは施設の方法經營の手段に於て自から大なる區別なからざるべからず、韓民文明の劣等なるは波蘭人に比して夫れ幾許なる乎、祖國民の移殖分布を獎勵して第二の本國を形成せしめん事は決して至難の事業に非ざるべし。

雜報

日露醫師條約

外務省に於ては日露兩國の間に醫師互惠條約を締結すべく調査中なりしが近時外交問題多端のため比較的重大ならざる本問題の如きは後廻しの姿となり其の後調査一向に進捗せず從つて內務省への交涉の如きも未だ一回もなさゞる由なるが外務省にては四十七年の條約改正期に際し之れを纏むるの方針なりしも事務多忙なると露國とは條約の改正すべきものなきとにより左程急ぎ立てず期を見て談判を試むべしと云ふにあれば遠からず該條約は締結せらるべしと

●福島中將訓話 福島中將は昨日龍山を日錄はれたるが先づ印刷局を見て後民長の請に依り午前十一時本町なる小學校を訪ひ生徒を運動場に集め二十七八年戰役の當時に在りては當地居留の日本人は僅々十戶內外に過ぎざりしが其後日露戰役を經て茲に大市街を形成し學校も設立され今日諸子と一場に會するを得たるは誠に喜ばしきことなるが這は皆我忠勇なる軍人の鮮血と諸子が父兄の勤勞とに依て得たるものなれば諸子は此事を能く記臆し益勉勵して軍人の鮮血と父兄の勤勞とを無効に了らしむ勿れ予は此地より兩三日の旅程にして到着すべき東京に在住せるにより兩三年が內には再び渡韓して諸子と相見るの機あるべし云々右訓話を爲し夫れより豫報の如く軍司令部を訪ひ午餐後各部隊を視察せり

▲病院民團直營となる 本年度に於て四千五百圓の補助を與へ受負經營となしたる病院は來年度豫算の通過と同時に民團直營となるべしと云ふ

▲道路視察團の組織 海南河東間の新道路竣工の上にて其の利用方法に就いて實地視察すべく商業會議所の發起にて來月九日出發すべしと

▲光州の城壁撤廢 光州城の東西南北の四門及城壁取壞しを內部に向つて申請中なれば許可次第着手すべしと

地方通信

▲釜山通信

▲米稅反對東上員 本邦に於て米稅引上げ反對運動のため過日來協議中なりしが二十六日商業會議所に關係者一同會し種々協議したる結果長谷川龜太郞氏に托する事に決定したりと

▲汽船會社總會 二十六日釜山汽船會社は第二期株主總會を開きたるが當期純益は七千圓余なりと云ふ

▲淸國民の招宴 今回專管居留地の確定したるに依り淸國居留民一同は二十七日在釜高等官を招待し盛大なる宴を張れり

▲元山通信

▲在鄕軍人團新年會 二十三日午後一時より民團樓上に於て新年宴會を催したるが例の軍人流無邪氣に頗る盛會にて餘興として福引等ありたり

▲浦汐渡航の減少 昨年中に於ける浦潮渡航者は五百九十七件にして一昨年に比較し約百人減少したりと云ふ因みに數年來年々幾分の減少を示しつゝある傾向なるがこは浦潮に於て韓人使用を嫌ふのためなるべし

▲民團豫算編成 民團理事者は來年度の豫算編制中なりしが昨今漸く編成したるが約六萬圓なりと

◎新刊紹介

▲東京經濟雜誌 先週より社說欄に金融の他に株式の景況を加へたれば一層の趣味を增加したり▲獨逸取引所に於ける取引亦繙くに價す（東京市京橋區彌左衛門町經濟雜誌社）

▲雜誌の雜誌 本誌は專ら敎育に關する雜誌にして中にも下田文學士の母親及び家庭敎育欄等は母親たると父たるとを問はず必ず一讀するの要あり（東京市小石川區餌差町三十四同社發行）

▲木浦商業會議所月報（第七號） 同月報は全南に於ける交通並に產業の現狀及全南鐵道開通後の將來等委しく數字的に詳記しあり（木浦商業會議所發行）

▲韓國鐵道運輸 龍山韓國鐵道運輸聯合會發行

日本銘刀傳

第卅三席 邑井一講演

甲「別に珍談もありませんが、一昨日此先きの宿で誠に哀れなことがありました」正「ウム何樣な事ですな」甲「ナニ外でもありませんが、此先きの倉賀野と云ふ宿に與助と云ふ十七の若者ですがなか〜の親孝行元は名主までした家なのだが、段々微祿して田地田畠は賣拂ひ、親父は中氣で三年越に寢たつきり、忰の與助が毎日〜馬を曳いて僅かの駄賃を取つて親を養つて居る夫れは〜孝心なもので近所で誰一人譽めぬものはない、所が何うしたことか武士から金を貰つたが、其金が倉賀野の代官の家で盜まれた小判ださうで其武士と云ふが盜んだに相違ないので牢屋へ入れられ、親父は村の者の情けで露命を繫いで居ると云ふ情けない有樣、倉賀野近所の人も何うか救つてやることはなるまいかと心配して居るんですが、何にしても大金の紛失したことゆゑ、其金が出ないうちは何うすることも出來ず、又其金を立替へて救ふこともならず誠に氣の毒であると、近所での評判でございます」正「オ、夫れは可憐想なことですな、宜しい、夫れならば私が何んとか助けてやることにしやう」甲「エッ、れ前さんが其與助を助けてやんなさると云ふがなか〜容易なことで助けられるものでは無い、其賊の在家を探し出すか又は其盜まれた金を立替へなければなりません」正「其金と云ふのは、何の位なのですか」甲「何でも五十兩とか云ふ話であります」正「ハ、ア、五十金ですか、其位のことなれば何うにかならんこともない」正宗は道中の事故身裝も立派ではなく、まるで行脚のやうな姿をして居るので、其頃の五十金はなか〜の大金で、其樣な大金の出來やう筈がないから、一同呆れて眼を圓くして居る其頃の五十金と云ふは今日の相場で云へば千圓にも二千圓にも向くのですから乞食坊主に何で出來るものかと狂人でもあらうと思ふて居る、甲「失禮ながら貴方は鎌倉だと有仰いましたが、鎌倉の御寺の住職さんでござんすかい」正「私は僧ではない、鎌倉の刀鍛冶で正宗と申すものぢや」聽いて一同吃驚した正宗と云へば當時天子の御番匠、刀鍛冶の神と仰がれて居る人だから 甲「ア、貴方さんが名高い正宗さんでごさんしたか、夫れは〜れ初にれ目に掛ります」れ初にれ目に掛りますも可笑しい、餘程狼狽して居やがる 正「私とても今五十金と云ふ持合せはないが、鎌倉へ歸れば其位のことは何うでもなる、夫うして私の腰に差して居る刀を一時代官さんへれ預けして置いて、兎に角其の與助とやらを助けてやりたいと思ひます」乙「夫れは〜御奇特のことでございます、正宗さんの御刀と云へば、化物さへ同樣で見たことがない、何うか一つ拜みたいものでございます」正「イやさうた譽めに預つては恐入る、至つて拙ない業なれどサア〜御覽下さい」一同「是れは〜難有うございます、ドレ〜拜見致しませう」五六人の合宿の人々宿の亭主も此事を聽いて座敷へやつて來た、亭「名高いれ方と存じませんで失禮致しました、何うぞ手前にもれ刀を拜見さして戴きたうございます」正「さう皆さんから譽められては穴へでも這入らなければなりません、是れは隱居遊で重くないやう細身ではあるけれど、鍛ねには念を入れてある、さア御覽なさい」正宗は自身にスラリと拔いて見せる、イヤ何うも身の毛も悚とする程の名刀、一同は唯解らぬながらも感心して見て居る 正「一盲に刀鍛冶と云ふが、なか〜容易なものではない、況して相州は水の惡るい所だから、なか〜鍛ね骨が折れる、まア自慢ぢやアないけれども、私は湯加減と云ふものを工夫して、十の妙所、十三種の沸と云ふものがある。」

株式會社韓一銀行七期營業報告

貸借對照表
（自隆熙三年七月一日至同十二月卅一日）

負債之部

一資本金	五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一諸積立金	二四、〇〇〇・〇〇〇
一未支拂配當金	二四七・八六
一諸任金	五三九、八九二・三三三
內譯	
定期任金	二五〇、〇五九・三三三
無期任金	一八四、三一九・四〇
小額任金	八八、三三四・二一
任金手形	一一、七八〇・〇〇〇
通知任金	一、〇八〇・〇〇〇
別段任金	四、三二九・三九
一他店より借	七三五・三八
一當半期純益金	二〇、〇七一・八〇
一前半期の越金	二、八六三・一四
合計	一、〇八七、八一〇・五一

資產之部

一辨納未完資本金	三七五、〇〇〇・〇〇〇
一任出金	一〇七、八二二・四六
一貸附金	一二六、七三八・二五
一無期過撥	三、七八五・四七
一割引手形	三九三、一九九・〇〇〇
一有價證券	六、二六五・〇〇〇
一家屋	一〇、八二五・〇〇〇
一什器	一、九六八・一八
一金銀	六二、二〇七・一五
合計	一、〇八七、八一〇・五一

損益計算

一金三萬九千三百五十七圓十八錢 本期總益金
一金二千八百六十三圓十四錢 前期繰越金
合計四万二千二百二十圓三十二錢內
一金一万九千二百八十五圓三十八圓 本期總損金
計除
殘金二萬二千九百卅四圓九十四錢 本期純益金

此配當計算左の如し

金三千圓 準備積立金
金四千圓 別途積立金
金六千二百五十圓 株主配當金
金二千七圓 役員賞與金
金七千六百七十七圓九十四錢 後期繰越金

右之通りに候也

株式會社韓一銀行
頭取 趙秉澤
專務取締役 白寅基
取締役 白周鉉
取締役 朴泓鎰
取締役 劉秉璉
支配人 金鎭玉

前記の各項を調査し其正確なるを保證す

監査役 裵東爀
監査役 金時鉉

東京電報

▲練習船月島丸？

靜岡 昨年十二月駿河灣にて漁夫の漁業中海底に一の船舶を發見し右は今より十年前に一大怪事として世間の視聽を聳動したる東京商船學校の練習船月島丸なるべしと確信せられ近日大搜索を行はるべし（三十一日）

▲公債借替の決定

公債借替に就ては桂首相と各銀行家との間に交渉中なりしが愈々東西十四の銀行はシンジケートを組織し借替公債一億圓利子年四歩にて引受くる事に決定したり（同上）

紐育電報

▲巴里全市の破壊

セーヌ河氾濫して巴里の全市街一大湖水を化し家屋は概ね破壊流出して避難の處を失ひ浮石慘狀を極めたる全市も其餘を留めず溺死者數十萬を算せられ叫喚の悲惨轉た鬼神を泣かしむ謂目の光景實に慘憺の至り（卅一日發）

雜報

近年稀有の寒氣

一昨日來の寒氣は凜々骨を刺すの思ひなるが當地測候所の語る處によれば昨二十九日夜に至り俄然低氣壓東朝鮮灣に現はれ漸次北東に進行するに隨ひ氣壓は却て上昇して其度急峻となり氣壓は愈々沈靜したる然るに滿洲地方の北西風吹き荒み韓國中部以北は一般に日下以前の低氣壓は次第に退却せず伴ひ天氣恢復せるも寒氣は益々嚴しく急激し近年稀有の嚴寒を示めせり而して今朝の寒氣は五六年內に於ける第二の酷寒を極むる零度は氷點下十九度〇、九にして之を華氏に改算すれば〇、四にて更に前年を比較すれば左の如し（但し攝氏寒暖計）

一月卅一日	四十二年十二月廿三日
氷點下一九、九	氷點下二〇、一

京城需要の石炭

其筋の調査に據れば京城に於ける石炭の消費量は鐵道を除き一般市民及工場用として一年間の消費額は約六萬二千五百噸價格五十萬六千圓なるが而して其供給先は最も多きは唐津筑豊の二地なるが最近に至りては撫順炭の呼聲漸く高きを加へ來り爲に母國產に其の影響を及ぼさんとせり最近各種炭價左の如し（單位錢）

		一等塊炭	切込	粉炭
唐津	一等	八、八〇〇	八、七五〇	七、八〇〇
	二等	八、七〇〇	七、六〇〇	六、七〇〇
	三等	八、六〇〇	七、四〇〇	六、三〇〇
	四等	八、二〇〇	七、〇〇〇	六、〇〇〇
筑豊	一等	九、五〇〇	八、七〇〇	七、八〇〇
	二等	八、八〇〇	七、六〇〇	六、七〇〇
	三等	八、六五〇	七、二〇〇	六、三〇〇
	四等	八、〇〇〇	六、五五五	六、〇〇〇
撫順炭		九、〇〇〇	……	……
平壤無煙炭		一〇、〇〇〇	……	……

以上龍山驛渡し更に龍山迄は五十錢、京城迄は八十五錢の要運賃

福島中將の謁見

福島中將は三十一日午後三時仁政殿に於て拜謁せしむべく其際韓皇は同殿に出御せられて謁見を仰せ付けられし筈なり

韓鐵賃金ご新主義

日本の鐵道賃金は遠く大政官の布達に依りて定めたるを初めとし其後明治三十一年に至り改正を爲し以て今日の賃金と遠達とを定めたるものなるが元來汽車の賃金なるものは成るべく均一を要す由にして思想と爲すを以て現代の要求に適せしむるを以て東京市に於ける市街鐵道又は郵便制度の如く成り得べくんば均一賃金を施行するを最上の方法と爲すべきも斯く迄進歩せるものに非ざれば之を現實することは能はざるより稍之に接近したる方法にて實行するを上策と爲し居ることなるが賃金の約束を爲したる時は恰も社會と云ふ如きもの故容易に改正することは能はず依つて別項三十一年に改正したる日本の賃金制度は全然此新主義に據ることを能はざりし由なるも韓國に於ては全然之れを應用し居れる由にして今日を距る三年以前に在りては一哩十五錢の收入なりしも今日にては三十錢の收入を見るに至りしは賃金制度其の宜しきを得居れる所以なりと

未墾地ご許可面積

農商工部の調査に依れば國有未墾地利用法發布以來昨年末までに許可せられたる面積は日韓人を通じて二千三百二十五坪にして之れを道別にすれば左の如し

	坪數	（日人）	（韓人）
慶尙南道	四、〇六五	一五	一七
慶尙北道	七、七九二	一六	一
全羅南道	四、〇三四	一〇	四
全羅北道	八、三四〇	一一	三
忠淸南道	二、四三二	一四	一
忠淸北道	一、一二七	一	一
江原道	……	……	……
京畿道	二、五〇八	六	二
黃海道	四、八二九	七	二〇
平安南道	二、八八九	一	九
平安北道	九、六九三	一	六
咸鏡南道	五、七二六	……	二
咸鏡北道	九四〇	……	一

因に江原道にては未墾地利用法發布當時暴徒の出沒盛なりし爲め未だ一人も出願者なしと云ふ

●安重根辯護士決定

安重根の弟安定根、安恭根の兩人は兄の辯護人を京城の韓人辯護士會へ依賴し來りたれば同辯護士會よりは辯護士下榮晚を出張せしむることゝなり下榮晚は公判期日決定次第出發すべしと

●侍從武官の大田行

山根侍從武官は昨三十一日朝發南行列車にて守備隊視察の爲め太田に赴かれたるが軍司令部より十時副時隨行せり

●江原道の郡衙廢合

江原道歙谷郡を廢し之を通川郡に合する旨一月三十一日の勅令を以て公布す

●昨年度處理の漁業

水產局に於て隆熙二年十二月末迄に處理したる各種漁業出願數は左の如し

△免許漁業

出願者別	許可數	却下	處分未濟	合計
日人	二一	九	三〇六	三三六
韓人	一三四	一三	一六九	三一五
日人團体	一〇	一	一九六	二一九
韓人團体	……	……	八〇	八〇
合計	一六五	二三	五〇五	五九二

△許可漁業

出願者別	許可數	却下	處分未濟	合計
日人	五八	三	八	五九
韓人	六六	一九	二三	八二
日人團体	……	……	……	……
韓人團体	……	……	二	二
合計	五六	三	三三	六三

△届出漁業

届出者別	鑑札下付數
日人	二一四三
韓人	四六二七
合計	六七七〇

●韓銀貨幣發行週報（自一月二十三日至一月二十九日）

銀行券總發行平均高	一二、九七七、〇七四
內 正貨準備發行高	四、九〇九、三五七
保證準備發行高	八、〇六七、七一七
銀行券手許有高	四八七、二一一
銀行券市場平均流通高	一二、四八九、八六三
硬貨發行額（一月二十九日現在）	五、九〇八、三三〇
內 金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同十圓	五〇〇、〇〇〇
同五圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九八〇、一五〇
同二十錢	一、四七六、〇一〇
同十錢	九六六、三四〇
白銅貨五錢	七一一、四五〇
靑銅貨一錢	二六三、五四〇
同五厘	八〇、八四〇

●昨年水害調査完了

內部に於て昨年水害に罹りしものを調査せしが其最も災害の甚しきものは安南道死者二百八十二名崩壞家屋二千一百六十八戸平安北道死者三十二人崩壞家屋八百七十二戸咸鏡南道死者五十一人崩壞家屋千七百五十一戸なるが今回被害の程度に應じ貧困者多き所に鑑み救恤金を下附することゝなり平安南道二千六百五十圓平安北道七百圓咸鏡南道千六百五十圓計五千圓にして何れ近々下附すべしと

●韓人の將軍歡迎會

金允植趙義淵張錫周俞吉濬趙重應等數氏發起となり一昨二十日午後七時より廣通館に於て福島將軍の歡迎會を開けり出席者は元老各大臣韓國朝野の名士五十餘名にして金允植趙重應の二氏は鄭重なる挨拶を述べ川上書記官之を邦譯し將軍の答辭あり後妓生の手踊及合奏等あり料理は朝鮮式にして主客孰れも歡談に時を移し午後十時散會せりと

●韓銀重役の東上期

二月十七日東京商業會議所に於て開會の韓國銀行第一回株主總會に出席する市原總裁及木村理事は既報の如く二月七日水越理事は二日當地出發東上の由

●敎友興業會の組織

侍天敎會長權秉悳、同前會長朴衡采及び一進會副會長金澤鉉等は數日前中部大寺洞なる侍天會事務所に會合して敎友興業會なるものを組織せんと協議して目下其準備中の由なるが會の趣旨は無職者に職業を得せしめんとするにありて資本金を四萬圓と爲し天道敎の積立金十一萬圓の內より流用する筈

●滿洲視察團の組織

鎭南浦にては默田商業會議所會頭等發起となり滿洲視察團を組織する事となり鎭南浦のみならず平壤にも同好の士を募り之を平南滿洲視察團と名づけ解氷を待ち汽船便にて南浦より大連に航し滿洲一帶の地を巡視し歸途は安奉線により鴨綠江を渡り京義線にて平壤に着し平壤にて散團の豫定なりと云ふ

韓銀重役不信任

韓國銀行が其營業方針を確定すべき大切なる今日に於て同行重役等が切りに不眞面目なる營業振を爲すは同行將來の爲に不利益なりとし一部株主は來るべき總會に向つて現重役不信任案を提出する由

同時に事務着手の筈なるか準備等もあれば數行は多少の時日を要すべしと

●東上委員は尚未定

穀物輸入稅增率反對運動委員東上の件は仁川商業會議所より群山、釜山の兩商業會議所に一任する旨電報を發したる由なれど今に諾否の返電に接せずと

●豐慶宮の所屬詮義

平壤城內に豐慶宮と稱せる故建築物あり其所屬に就ては頗る曖昧にして何れの者とも解らざるが今度內部に於ては充分調査の上其所屬を明かにすべしと

●蠶業講習所の官制

一月三十一日の官報勅令第六號を以て女子蠶業講習所官制發布せらる其要點は同所は農商工部大臣の管理に屬し蠶糸業に關する講習、蠶種及び桑苗配付へ巡回講話の事務を掌り奏任技師一人判任技手二人書記一人を置き所長は技師を以て之に充つるものとせり

●群山昨年中貿易額

群山港に於ける昨四十二年度の輸出入貿易額は總計二百九十六萬餘圓に上り四十一年度の二百八十餘万圓に比すれば十餘萬圓の增加を示せり尤も昨年度は前年度よりも輸入貿易大に不振なりし割合に總額に於て此增加を見たりと

●北韓小包郵便無稅

淸津港を經由し渾春及間島に到る小包郵便物は悉皆無稅を以て通關せしむる筈にて今般通信管理局と關稅局との間に於て交涉濟の由なるが此規定の設けられしは曩に淸津港を經て渾春及間島に到る貨物は無稅たるべしとの法律を發布したるに基くものなりと

●講習所役員の內定

別項女子蠶業講習所官制の裁可に付き農商工部に於ては其役員も略內定し居れば近々發表の運びに至るべく任命と

韓一銀行營業成績

資本金五十萬圓（未拂金二十七万五千圓）
下半期純益金二萬二千九百三十四圓九十四錢
配當金年一割
後季繰越金七千六百七十七圓九十四錢
專務取締役 白寅基
支配人 金鎭玉

株式會社韓一銀行は鐘路通りにあり韓國の銀行として政府の補助を受けず獨力にて營業しつゝあるは唯り本行あるのみなり今昨下半期の營業成績を聞くに從來韓國に於ては商品資金にあれ事業資金にあれ悉く外人の手に支配されたるが同行の創立されたる以來新に取引を開始するものは勿論從來他銀行と取引しつゝありしものも同行と取引するに至り創立日淺きに拘はらず貸出し及預金等多かりしが多數の外商移入と共に韓商は生存競爭に打勝つ能はずして殊に昨年下半期に至りては從來の營業を放棄するもの增加したるを以て市場に恐慌を來したために商業沈滯し預金のみ激增し資金の運轉減縮し韓人のみの取引に限るときは勢ひ銀行の損失を免かれざるを以て十月頃より支那商人との取引を開始し漸く資金の運轉を見るに至れり而して十二月には支那商人の上海に送金爲替多額に上りたる結果として金融緩漫なりしに拘はらず前期に優りたる好果を收むるに至りたるなり。

●李總理昨今の容態

一時危篤を氣遣はれし李首相の容體も入院後好順の經過にて昨今は既に病院の廊下邊りを散歩する迄に至れりと

●木越師團長の出張

木越第六師團長は昨三十一日朝發の急行列車にて平壤に出張せられたりと

●水道稅徵收法公布

官營水道の給水料は國稅徵收法を準用すべく一月卅一日の官報を公布せらる

●敍任辭令

廿二日付を以て參政局長以下左の如く任命ありたり

任參政局長敍奏任官一等 度支部書記官兼臨時財源調査局書記官 上林敬次郎 兼官如故
任參政局技師敍奏任官三等 度支部技師 富家正義
任參政局事務官敍奏任官四等 度支部事務官 齊藤金祐

福島中將の退京

福島參謀次長は豫定の通り今一日午前九時南大門發列車にて南韓に出發の筈

●外務部員讀書會 統監府外務部職員一同は一昨三十日午後三時より小松部長官舍に會合し第一回讀書會を開演せしが當日は將來の計畫に就き種々相談を爲し今後毎月第一日曜を以て同部長官舍に於て開會する事に定めたる由

●市原總裁の招宴 市原韓銀總裁は一昨三十日午後六時より在京日韓人新聞記者及び特派員二十餘名を花月樓に招待したるが市原氏の挨拶に戸叶大韓日報社長の答辭あり頗る盛會なりしと

●長官の中將歡迎 石塚總務長官は昨三十一日正午より福島將軍歡迎會を翡翠樓に開催したるが文武勅任官十數名陪賓として參席石塚氏の挨拶に次ぎ福島將軍の答辭あり盛會なりしと

●龍山有志新年會 一昨三十日午後六時より龍山民長、警察署長及び民會議長の發起にて居留民有志者新年宴會を和歌の家に於て開きしが會するもの三十六名中々盛會なりしと云ふ

●豫備金支出裁可 農商工部所管特別功勞賞與金五千五百圓豫備金より支出の件一月廿七日裁可公布せられたり

●大韓獸醫畜產會 既報の如く去る廿九日淸華亭に於て開會したる大韓獸醫畜產會は來會者廿三名盛會なりしと

●衞生組長新年宴 京城衞生各組長は三十日午後六時より花月樓に於て衞生上事務打合せを兼ね新年宴を催せり

韓銀瞥見錄（七）

スイロオ生

▲我帝國政府の賞勳局は本月二十六日付を以て左の辭令と共に金杯一組を第一銀行頭取澁澤男爵に下賜せり、

夙に韓國に支店を開設し日韓の金融を裨補し又韓國銀行創立に際し其趣旨を奉體し同行の成立に便宜を與へたる段奇特に付金杯一組を賜ふ。

▲賞勳局が澁澤男爵に向つて金杯を下賜し翁の功勞を表彰したるは蓋し當然の事なり、但し玆に稽ふべきことは辭令中に包有せる韓國銀行創立に際し其趣旨を奉體し云々なる文字に就てゞなり。

▲壯年重役木村氏の言ふが如く韓國銀行は純然たる韓國の銀行にして我帝國政府と何等交渉を有せず、從て重役の意見に因りては何時にても獨立することを得るものとせば我政府の賞勳局が何の爲に澁澤翁の功勞を表彰するの理由かある、記者は木村氏が身重役の班に列しながら韓銀の獨立論を唱導するは全く狂人の沙汰にして以ての外の事なり。

▲木村氏は云へり韓銀は二錢以上二厘の日歩を以て百三十及十八の兩銀行へ貸越契約を爲せりと、記者は其利率の何に因つて定められたるやを聞きしに氏答て好意を以て定めしなりと云ふ、而るに記者の知れるところを以てすれば目下日本銀行が各銀行に對する貸越日歩は一錢五厘なり、百三十と云ひ十八と云ひ何れも其本店を內地に有す、韓國中央銀行たる韓銀にして二錢以上の日歩を之等內地の銀行に課すとせば彼等は其高率に堪へ得ず義理にも內地の本店より低利なる資金を取寄することゝすべし、記者現在銀行業に從事せず從つて大坂よりの送金料が目下幾許なるやを明知せずと雖も苟くも日銀日歩と韓銀日歩との間に五厘若しくは七厘の開きの存するに於ては百三十及十八等は送金料を拂つて迄も大坂より資金を取寄することゝなるは當然なり、木村氏が二錢より二錢二厘は好意率なりと云ふに對し記者が正反對に开を全然禁止率なりと稱するは事實が叙上の解說の如くなればなり。

▲況んや韓銀は貸越に對する擔保として兩銀行より有價證券を預り居れりと云ふ、契約はなせども日歩の高きが爲に使用する能はず而かも此使用し得べからざる貸越の契約に對して擔保を預り該擔保乃ち有價證券を保證準備の一部に流用するとは韓銀重役の機敏の程も見ゆて株主一統は或は喜ぶやも知れざれどもさりとては其營業振の不眞面目なる嘔吐を催すに許にして記者の決して賛同し能はざる所なり。

龍山通信（卅一日 支局發）

▲委員の選定 一昨三十日午後三時龍山韓國橫貫鐵道期成同盟會委員會を龍山民團役所樓上に於て開會し運動委員上京の件を決議し直ちに之れが撰擧を行ひしが龍山民團民長大久保到氏當選したり依て委員は本月五日頃上京する豫定なりといふ然れども萬一同委員上京する能はざる事故あらば次點者大村百藏氏大久保氏に更に上京すべしと

▲滿鐵の起會 南滿鐵道會社にては客月東亞經濟調査會なるものを起し事務所を同會社內に置き滿洲に於ける經濟狀態の調査研究を爲し同地の狀況を知らんと欲するもの爲めに其調査研究の結果を應答すと

●仁川氏長等歸期 仁川岩崎民長及靑木商業會議所副會頭は目下坂神間に在りて港灣設備視察中なるが來る四五日頃までには歸任する筈なりと云ふ

●飛田淸澄氏退京 入京中の江景農銀出張所支配人の氏は卅日仁川へ向ふ

●大橋大尉の出張 京城憲兵分隊の大橋大尉は昨三十一日午前山根侍從武官を見送りて成歡まで出張したりと

●曾我勉氏の出發 鐵道期成會東上委員曾我勉氏は三十一日午前出發せり

●戸津學氏の入京 大邱農工銀行支配人の同氏は廿九日入京不知火へ投宿

●津末有隣氏入京 滯京中の春川區裁判所判事の同氏は二十九日歸任せり

●佐々木局長入京 全州財務監督局長より平壤財務監督局長に轉任したる佐々木正太氏は一昨三十日入京したり

●大谷信夫氏入京 仁川區裁判所判事の同氏は二十九日入京不知火へ投宿

▲治外法權▼

統監府官吏が元の公使や領事の格で關稅免除の特典に預り居るは不條理千萬の事だ、記者は本件に關し昨年九月商業會議所聯合會に於て私見を述べ其筋の反省を求めたことがある▲一体關稅免除の特典は其以前獨立せる韓國が日本國政府の代表者へ厚意を表する爲に與へたものだ、而るに今の日韓關係は其以前と全然別だ、從て韓政府が何と云ふても統監府は關稅免除の特典なぞを受べきもので無い▲而るに何ぞや韓政府が貧乏にて日本政府より無利足の金を借入れヤツト遣繰りを付け居る今日尙統監府が關稅免除の特典に預り居るとは其心狀のサモシサが見ゑて實に呆きれるばかりだ▲統監府員が關稅免除の特典を濫用して一種の脫稅を實行し居ることは今日に於てはモーハヤ公然の秘密だ、之は商賈人の迷惑になる許りでなく官紀の上から見ても默過すべからざる事だ、剛直廉潔の名ある石塚長官事務取扱は本問題を至急片付けべしだ▲本日記者の許へ南米バナマの友人から年始書ハガキが屆いた、其表書に曰く、日本國韓牟島京城、外人は日韓合併がトーに出來たものと信じて居る▲米國の或學者は此頃人間の屍体から砂糖を採ることを發明した、之は我東拓にとつて耳よりの話だ、宇佐川さん一ツ運動して日韓人死亡者の屍体を一手に買受けツレヲ原料として製糖すれば廢物利用の君の主張にもかなひ同時に會社は大に儲かるダロー、煙草栽培なぞをするより屍体利用の方が手取り早くてドレ程有望か知れぬ。

●滿洲劇の開幕

本日休業



趣味の京城 (三)

寫眞會—謠曲—淨瑠璃—球突—大弓—琵琶—俳句會

鐵會

鐵會は鐵道管理局員によつて組織されて居る俳句會で鈴木恐南、竹原五風、新庄竹涯、しのぶ、鷗里の諸氏は錚々の名あるもの、會員總數は三十名内外毎月二三回づゝ會員の宅で集會を催す事になつて居る、印刷局が御親類丈けに年に三四回、頗る凝つた句集を發刊して會員に分布する。句集の体裁の見事な事は到底巴吟社の寒厓版雜誌の比ではない、但し句集の美しいのが直ちに俳句の價値に關係するか否かは別問題である。

青瓦會

青瓦會は去年の春山地白雨、細井吼蛙の發起で成立した俳句會で、會員は通管と京城の兩局員で二十餘名白雨は東都で發行する雜誌新半面の選者で岡野知十の四天王と呼ばれた高弟である、絶へず文藝的各方面の研究に身を委ねかつて努力修養を怠らない丈けに其句にも歌にも清新の氣が溢れて新人の痛切な鋭い觀察が顯れて居る。蓋し青瓦會の一派は因はれたる舊慣形式を突破し一切先人の粉本を學ばず大膽な卒直な句振りを見せた爲め破格亂調だとの批難は高かつたが何人も其試作に對し迫るが如き生氣の躍動を否む事はできなかつた、會員中小堀泰一坊は句作の多いのを以て知られて居る、序に紹介して置くが、京城に隠れたる一人の俳人がある、青瓦會の客員で吉川宜秋と稱する知十の高弟で句は極めて巧みだが作句は人に示さず獨り興會をやつて居る恐らく京城中にこの人の右に出づる俳人はあるまいと思ふ、日曜毎に白雨の宅で例會を開き一時は非常に盛んであつたが、吼蛙が官吏を辭して肴屋になつて以後余り振はない惜いものだ

沈香會

沈香會は三井物産會社の社員五六名から成立して居る會で柴田梅峯が重な吟者である、碧梧桐派であると言ふ以外に特色はない機關雜誌は日本及日本人

吟光會

吟光會は韓國銀行の連中十八九名で組織されて居る、倶樂部が會場で、月に一兩回は例會を開く、楊原射石、須田せきじ、高山草四、晃甫の諸氏に名句が多いこれも矢張り碧〇桐派である。見渡したところ先づザッと以上の如くである、俳句に限らず文藝は趣味として尤も貴ぶべき最高級の趣味である京城の天地に純文學雜誌が一冊もないとはどうしたものか。

三面電報

排日黨の燒打

▲財務署と郵便局を襲ふ

廿九日順川財務署員が市場税を賦課せんとて同市場に臨みたるに多數の兇徒は之に暴行を加へ剩へ順川郡衙及び同財務署郵便局(共に同一構内にあり)等に放火し之を燒失せしめ日本人數名殺害せられたるを以て當地よりは本日檢事及警察官數名急行せり(卅日平壤發)

燒打暴徒詳報

▲邦人數名殺害せらる

平安南道順川財務署長より平壤財務監督局長宛の報告に依れば去る二十九日順川財務署は同所排日黨の爲めに襲撃せられ日本人主事野澤辰三郎氏(明治十三年生)金融組合理事渡邊泰三郎(山口高等商業學校卒業生)の二氏殺害せられたる上に郡衙は燒擲に逢ひ郵便局も亦襲撃を受けて其所長も殺され郡守は行衛不明なりとの電報三十日夜度支部へ到着したる由來平壤方面に於ては地方税の納入に應せざる者多く殊に二十八日付を以て順川財務署よりの報告に依れば該地方の者は全然納税を拒絶し更に徴收の見込無しとのことにて徴税の官衙たる財務署以外其他の官衙並に金融組合等日本人の主宰せるものを襲撃せしは同地方に於ける排日黨が徴税の拒絶を利用し以て地方の農民を煽動したるものゝ由にて平安南道方面の排日派は實に盛んなりと云ふ尙宜川方面の官衙に於ては常に日本人が惡政を布き人民を塗炭の苦しみに陷入れるを以て首を斬るとの投書頻々たりしと云へり

燒打暴徒別報

▲在留邦人悉く殺さる?

今朝其筋へ一大警報達せり當局者は時を移さず討伐の兵員及警察官を發したるが唯今迄に達したる報告を綜合するに頗る重大なるものゝ如く今其斷片的報告を按じ之を察するに平安南道順川に於て二十九日午後四時頃暴徒の一群喊聲を揚げ銅鑼鐘を鳴らしつゝ該地所在の郵便局財務署郡衙金融組合事務所及其它公舍全部を燒拂ひ財務署長野澤辰三郎、金融組合理事渡邊泰三郎郵便取扱所長大野憲太郎の三氏は彼等の毒刄に慘殺され其他在留邦人は現在九名あるが數百名の大群に取卷かれ到底逃るゝに由なく孰れも生死覺束なきが如し暴徒は尙ほ盛んに其猛勢を逞ふしつゝ附近一帶の官衙及日本人民家を襲はんとし頗る危險の狀態に在り該地は順川を距る事約六里平壤を距る十一里の避遠地にして交通機關不便の爲め警報の到着延引せるが財務署主事韓致鳳なるもの身を以て僅かに順川迄逃がれ來り同地より電報を發し來りたるものなれば其報告は唯だ目擊遭遇せる事實のみにして其後の狀況は後報を待たざれば詳悉する能はず取敢へず其筋より平壤管理局員等急行したり暴動の原因は市場税賦課に對し反抗を企たる者の如く暴徒の一群は全部其地所在の市商及び農民なれば之を輕視し能はず且つ該地方は頑迷なる排日思想の凝結地にして當局者は之を普通の暴徒と見做さず場合によりては一大討伐を試みんとの事なり

●六連發か嫌疑の因

▲汽車から落ちた韓人

一昨日午前八時十一分祖峴驛發南大門行列車が牛角洞附近を通過する際一名の韓人は車上より墜落して列車に頭部を强か打たれ重傷を負ひて倒れ居るもののある旨仁川署に報ずる者ありしかば警官は直に現場に出張して取調べたるに仲々の重傷なるものから直に久木田病院に收容して應急の手當を施し生命丈けは取り止めしが同韓人所持品中に六連發短銃を而も彈丸と共に携へ居れるにぞ若しや暴徒の連累者か將た此日しも下仁せらるゝ稲島中將を覘ふ曲者にあらずやとの疑を起すに至り嚴しく取調べを爲したるに全く然るものにはあらず實の處は仁川平洞居住の柳在浩(三二)と云ひ開城に用事あれば行かんとする途中鬪らずも列車より轉げ落ちたるものにして短銃は只だ護衛の爲め所持し居たるに過ぎざりしと

社名詐稱の罰は覿面

▲旅費の不足が元となる

仁川署刑事の手にて京城日報社員と詐稱して詐欺取財を働き仁川に逃走し來れる男を逮捕せし由は豫め報道し置きたるが右は原籍廣島市十日市町生れの立花盛市(三二)と云へる者にして昨年の六月其の實兄に當る同姓秀順と云ふが京城永樂町二丁目にて受負業を營み居ふを頼り來りたるが枕柱とも賴む兄の秀順は仁川猫島新地甌樓の抱酌婦鶴子と云ふに熱くなり昨年暮れより殆ど同樓に入浸りの有樣にて遊蕩三昧に耽り常業は徐外例けの有樣なるにぞ兄を思ふ弟の盛市は屢々忠告を爲したれど迷ひに迷へる兄は之れを馬耳東風に聞き流して益々放蕩に身を持ち崩すより今は反省を促すの餘地なきを見て取つたる盛市は痛飲天を仰で長大息を漏らし今は行末望なき兄の家にありたればとて面白き事もあらぬものから郷里に其旨申送りて金十四圓餘を送金して貰ひ之れを旅費にして歸國せんとしたるが人は慾なものにて土産物も買はねばならぬに幾分の旅費不足を來し茲に惡心を起したることそ嘆はしけれ恰も其時兄の家に京城日報社の名刺ありしかば之れを害用せんとの恐ろしき企てを起し去る廿六日午後二時頃當地本町六丁目のとある韓人自轉車屋に至り裏に此者に自轉車一臺を與へられたしと認めある同社の名刺を示したるに韓人は一も二もなく四十餘圓の自轉車を同人に與へたるより雀躍して翌廿七日仁川に下り本町三丁目の水野下宿屋に潜伏して右自轉車の賣先を搜索中其筋の手に逮捕され尙餘罪あるやも圖りがたければとて取調中なりと

●一昨日の歌留多會

▲一等は霞の梅宮

それから會主催にかゝる京龍仁歌留多大會は一昨日正九時より大和町梅の家にて開會せられたるが當日は非常の寒氣なりしにも拘らず同好の來會者無慮六十有餘名にして中々の盛會なりしとの事なるが其の競技の結果は一等霞の梅宮二等漢江の和田山三等双葉の上田四等は太田よりの來賓五等はそれから會の岡宮なりしと

●爲替券を拾得す

旭町一丁目二百三十三番戸居留平民饂飩行商八原田治殿と云ふは毎晩の如く饂飩行商中一昨三十日午前二時頃本町一丁目郵便局先きの道路にて十五圓の電報爲替封入の者を拾得し直樣南署へ屆け出でたるが右は本町七丁目川口方岡村茂吉なる元へ國元より送金の者と判明して同日同人へ下げ渡さる

●龍山の娛樂大會

去る廿九卅の兩日龍山鐵道局員集會所にて開催せられたる同會は頗る盛會なりし由にて其の番組等は次の如き者なりしと、廿九日の部 筑前琵琶(井上華月)講談(三遊亭千朝)淨瑠璃花の雲佐倉曙義作切腹の段(渡邊東山)舞踊(某小女)開催の辭、筑前琵琶(井上華月)落語(三遊亭千朝)博多二輪加(京城喜樂會)淨瑠璃(渡邊東山)博多二輪加(京城喜樂會) 卅日の部 筑前琵琶(井上華月)講談(三遊亭千朝)淨瑠璃攝洲合邦が辻(渡邊東山)舞踊 某小女)開催の辭、筑前琵琶(井上華月)落語(三遊亭千朝)博多二輪加(京城喜樂會)淨瑠璃(渡邊東山)博多二輪加(京城喜樂會)

●猩紅熱病者二人

旭町一丁目百七十六番戸の山本はな(九)及び同町三丁目百七十一番戸住成瀨ちよ(三)の兩人は去る二十八日發病猩紅熱とあつて速日大韓醫院へ入院す

●牡鷄一羽の拾得 一昨三十日旭町一丁目度支部官舍横町筑田和平方の庭先へ一羽の牡鷄飛び込み來りしかば種々其の所有主を詮議なせしも不明の爲め其旨南部署へ屆出づ心當りの者は南署へ賴合わるべし

●統監府員の兎狩 昨日の日曜をトし寒氣酷烈なるも意とせず統監府員一同は輕束して奬忠壇に兎狩をなせしが不幸にして一頭の獲物なく各脾肉の嘆に堪へず日暮歸廳せりと

●勸商場の大賣出 明治町の京城觀商場にては本日より向ふ七日間景品付大賣出をなす由なるが當り籤は白米十俵景品券は三十錢毎に差上るとの事

●土曜日曜の新町 二十九卅日兩日の新町遊廓登樓客は計二百四十名にして其の費消金額は千二百三十四圓八十六錢なりとは流石に休み日の事なり

●編輯日誌 誰れも彼れも皆寒いと云ふ、鼻が赤うて唇が紫だ、實際昨日は寒かつた、火鉢に手を翳して居る内に例の如く社長から小言が二件、營業部の方にも一件がものゝあつたらしい今後れ小言に例の如くなぞの冠は成可く附けたくないと思ふ、龍山支局の長野君が失敬さ云つて歸つた丁度四時

▲歌舞伎座 同座本晚の出し物は前「〃〃〃」第十六回目「苅萱桑門筑紫𨏍」矢渡しより玉取り迄、切は好みとあつて「法界坊」上中下と据り例によつてその役割は法界坊後に亡靈、野分姫(福圓)娘夕秀、野分姫(梅女)多々羅春藤左衛門、道具屋甚三(眼若)盜物太郎(福三郎)要橋立、吉田宿直之助(菊三郎)弟女之助、船守れかん(吉麗)御臺牧之方、娘れくみ(菊太郎)大内義弘、小道具や市兵衛(小文治)關口隼人、番頭庄八(當久次)友方大學、親權右衛門(壽太郎)海月式部、うどんや六兵衛(昇若)千束之前、仲居お玉(寶若)

●浪花館 同館竹本越之助一座の娘義太夫初日本晚の語り物は次の如くにて午後六時より開演すと 御祝儀資入船(越吉)日吉丸三段目(今子)れ駒才子鈴ヶ森の段(此菊)加賀見山叉助内の段(此清)御所櫻三段目辨慶上使(春吉)鳴戸八ツ目(小妻)太功記十段目(團菊)三勝半七酒屋の段(越之助)三味線(今吉)れ染久松野崎村(總掛合)

歌舞伎座と藝妓

▲中檢腕利連の出囃し

初日以來既に十五日連日滿員の好況を告げたる歌舞伎座中村福圓一座の大歌舞伎は最早仁川乘込みの期迫まり餘す處僅かに一二日となりたるが今一日の切り狂言は別項記載の如く隅田川「法界坊」上中下の三場にして野分姫亡靈(福圓)の所作は中檢の腕利連出囃しを爲す筈にて其顔觸れは花月のれ辰、清華亭の三太、井門の政子、翡翠のた纏、有明樓の妻勇、極樂亭の八八等にして歌は辰政子妻勇之を勤め他は何れも三味線に廻るべし尙當日は各樓藝妓總見物を爲すと云ば定めて盛況なるべし

▲平民文庫▼

▲敢て小僧君に問ふ貴紙の都合にて我々閑人の爲め文藝欄なるものを設け短編小説詩歌小品文の如きものを募集しては如何(閑居人)▲追て募集する筈だが透逸なれば何日でも掲載する投稿あれ(小僧)▲三面記者先生に願ひ候貴紙の新町遊廓登樓客數消費金高の掲載は我々に至極便利願はくば各戸別のれ客金高の掲載をも(呉服行商人)▲大坂では一錢さ五厘の豆腐喧嘩が始まつてるは相な何うだい京城の豆腐屋も元氣があるなら一つ此奴と競爭を遣つて見ては(見物生)▲水道栓の前に立つてヨボ公が水汲合圖の笛を吹くか車や馬車で少しも聞ねぬ豆腐屋のラッパがまだ增だ(人馬鹿生)▲過日西部の石堂建築所事務所がボヤを遣つた事を内地の諸新聞では太皇帝の居城が燒けたど二號で書いてゐる馬鹿〱しい通信員も時々罪な戲をやるわい(噴飯生)▲薪を山の樣に積んだ大牛を平氣な顔で賑くもない小路を曳いて往ヨボ州には全く閉口する京城も既に毛谷村六助時代ではないぞ一体當局者は何と見れるか(迷惑坊)▲次に記載焦れ船子の投書は聊か可怪い樣に思ふ稿者が自身が自身が稿者か先づ讀者の判斷を乞ふ(小僧)▲小高君ぞうか僕の身を憐れんで呉れ給へ怎をしても思ひ切れないのだ小高さんが色氣のない樣な風をして見せると尙更未練が殘る、殘る未練が何の種とやらで誠に君は罪だよ、余り罪を造ると死刑の宣告を申付けるぞ夫れが苦しかつたら早く罪亡しを爲給へ君の爲めには嘆いてゐる人もあるから共に僕も殘念だ兎に角一夜の夢を結ばせて呉れ給へ賴むから(無生)▲僕は昨夜海山樓へ往つて見たが成程小高と云ふ女は何處となし愛嬌があつて姿も云ひ分はない怎うして彼麽處に居る者か身の上が聞きたいと思つたが海山は始めてゞもあるから聞く譯にも往かず只其の顔に見惚れて居つた矢張り東京の女は何處か違つた處がある彼麽女は誰か早く落籍すが可い實に男殺しだ(焦れ船)▲廿七日の濃霧は實に大變な者であつた僕は其上大變な目に遇つた例の通り新聞を投げ込みつゝ出て行うとすると「新聞屋さん」と呼ばれるから又小事か聊か心配して引返して見ると云ふ事が面白い「新聞屋さん何處か火事ですか」と來た「ひゝわ」と云ふと「だつて大變な烟」と云ふ先生霧を烟と思つたのだ遺感八が四五人あつた外に瓦斯管が破裂したのだと云ふ者もあつたが大笑ひだ(平民將軍)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判

二月一日 月齡十二の廿一四綠友引丁酉成△一白●平靜の日なり婚姻相談共同組合等には忌む△二黑●不意の障害起り易し紛失遺失の虞れあり△三碧●軋轢衝突防ぐべし火の元要意すべし△四綠●中宮日なり凶盜難遺失酒色を戒しむ△五黄●巧言令辭に陷ゆる勿れ共同組合訂盟等凶△六白●取引賣買貸借の上に間違起り易し色情痴情の破れを戒しむ△七赤●爭論衝突を防ぎ誘惑に陷ゆる勿れ△八白●不事の日なり新事見合の事旅行共同組合凶△九紫●摸樣替方針替等改革變易の事効果好し家庭内に些々たる煩累わらん

●天氣豫報

(自卅一日午後六時至一日午後六時)

北西風晴

三十日(華氏) 最高溫度 三〇、七 最低溫度 二八、四

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物産京城支店
●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻屋本店
●望上女中 十五六歳の女子高等官舍上女中見習たし俸給望まず 氏名在社(八)
●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ日の出町下山商行(電一〇〇七)

物件部

●貸家 西大門内佛國領事館際六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし同所清水方へ
●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 贊化堂藥店
●老舗讓渡 本町一丁目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村
●貸家 南大門外吉野町一戸建間數三疊家賃十七圓外に長屋建もあり汽車停車に近く出入便希望の方は電話七四番
●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温突ならば最佳 氏名在社

廣告

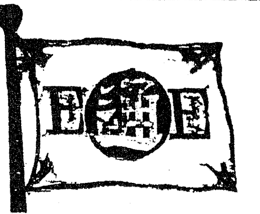
入院 隨意
龍山新市街山下町
內科 小兒科 眼科
原醫院

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

焦心罩志多年爲斯道於涸微義奧旨恍然似有得者辯聢推臆斷啖啖茫洋辭愈匪勝褰面輕報也
京城本町五丁目
易斷觀相數授
三一館
館主 土御門派大陰陽師

開店廣告
料理 洋食 すき燒 辨當
食て後ち御評判を乞ふ
金十五錢均一
出前も致升
鐘路裁判所向裏
鐘路軒

京城西小門通六番戶
入院 隨意
菅醫院
電話改番 一三一五



貨物運送取扱
稅關貨物取扱
貨物引換證發行
危險擔保附運送
品代金付貨物運送

內國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話一七九番 電話七〇八番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番
草梁驛前 釜山出張所 釜山驛前 草梁驛前 電話五一六番 電話六三七番
龍山驛構內 龍山出張所 電話二〇六番

伊藤公小銅像
丈け八寸橫五寸六分 顏の大さ二寸八分
明治四十二年十月ハルピンにて兇徒射殺せられたる當時の像
定價及鑄金の類別
甲種一號純銀像 正價二百圓即賣割引百四十圓
甲種二號純銅像 正價二十五圓即賣割引十八圓
乙種一號銀鍍金銀像 正價八圓即賣割引五圓
乙種二號ボロンジ色銅像 正價五圓即賣割引三圓
○郵送料け荷造費共一切にて內地金五十錢 海外滿韓臺灣支那等は金一圓
現品は着金即時發送す
○即賣割引の定數 甲種一二號合計百像 乙種一二號合計三千像限 ◎定數を過たる時は正價に復す
△玆に謹で公爵が銅像を製作し子孫萬世へに公が在世の面目を偲ばんとし苟も我日本國民にして此一代の柱石を欽仰するの心あらば何人も宜しく速に來り賛し一基を求めて座右に具へよ他日公を見ゆるの道此舉を措て何か有らん○は製作は斯界の泰斗東京美術學校教授從五位高村光雲師に授け帝室技藝員公が因某子爵の指導監督を得しもの故其の寫に於て些の遺憾なきを得ん
監督の許に美術學校助教授水谷先生の手を煩し且つ
發行所 東京市牛込區肴町卅五番地 眞美堂 鑄金部 山端寅三
鑄金部監督 東京美術學校教授 帝室技藝員 從五位高村光雲

東京
足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店 東京 大和屋
京城大和町一丁目(日の出橋際) 藤井出張店 電話二百〇五番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジャ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

營業擴張廣告
土地家屋並に商品擔保
右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記御便利の箇所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速罷出可申候
質 全 業
京城竹園町二丁目 樋下田本店(電話九三二番)
京城相生町(南大門魚市場東裏) 樋下田支店(電話一四三九番)
龍山清水町六十三番戶 樋下田支店(電話四〇四番)

荒物世帶道具一切
大坂 合製白絞油 和洋蠟燭
和傘 岐阜提灯 魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒
並に買次業
合西
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇番(二カ又は二)
振替貯金口座東京(九四一七番)

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
大上商店
京城本町五丁目
和洋酒、罐詰、糯粉、穀物類、銘茶、罐詰、乾物、候物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽、荒種特約販賣商御用命に依り商品切手調進仕候
(電話二二五一番)

石川高等法院判事閣下校閱
今村內部警務局警視閣下校閱
日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利
統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要
●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢
右發賣以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約官制、宮規、官等等級、俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して是非に易からしめ、餘白を存して何時にても追記の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か覺額に酬ゆるの趣旨に有之候間に付て御購入の御方に限り本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具
明治四十二年十二月一日
京城 日韓印刷株式會社出版部

外科 內科
梅毒麻病專門
●入院隨意
●京城御成町南大門外一丁目
●電話番號九三八番
戶田病院

二月一日より松村先生の診察時間を左の通り改正す
診察時間改正廣告
自午前九時 至正午
但他は從前の通り
龍山榮町(電話六〇三番)
龍山醫院

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)

韓國銀行
電話(長)一二三 一六三 〇二 本店用
電話 一二六 一三一 一〇 當直用
電話 一三三 一六三 二一 用度係
電話(長)一六 三〇 六二 來客用
電話 一三 二六 臨時建築部用
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、開城、安東縣
爲替取引先
東京、大阪、橫濱、神戶、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、(以上日本)釜山、公州、光州、晉州、海州、沙利院、博川、鄭邊、(以上韓國)大連、(清國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

御待合
京城南大門通三丁目光宣門側
紅葉
電話一三八二番
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一に心懸け候

綿わた綿ワタ
たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
御問屋
京城明治町一丁目四ツ角
唐川商店
電話二六一番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他內用には鐵冷温泉を用すれば尤も效能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番

株式會社 十八銀行
京城南大門通 (電話四)
銀行一般業務精々取扱可申候
資本金 積立及繰越金
本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

★株式會社 百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番戶 電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、御影、兵庫、神戶、堺、岸和田、田原本、貝塚、住吉、茨木、下市、平野
東海道 東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、高崎、秋田、能代、七崎
北陸道 福井、敦賀、鯖江、金澤、小濱、富山、伏木、新潟
山陰道 大聖寺、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 玉島、龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、原、廣島、福山、柄、府中、尾の道、三原、下關、岩國、山口、柳井、平生
南海道 下松、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、尾串、本、御坊、田邊、新宮、和歌山、丸龜、高松、撫養、德島、善通寺、島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、八幡濱、川之石、宇和
西海道 久留米、若津、中津、小倉、門司、直方、飯塚、博多、福岡、若松、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 仁川 出帆廣告 電話十番
瀛船
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 二月十一日後三時出
●大連行 相模丸 二月十五日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出
●大連行 酒田丸 二月 三日正午時出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 一月廿六日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ス